

R3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業一覧

(円)

番 号	年 度	事業名	担当課	概 要	総事業費
1	R3	地方創生テレワーク推進交付金	地域振興課	新型コロナウイルス感染症によりワークスタイルが変化し、地方へのサテライトオフィスやテレワークの関心が高まっている中、民間企業と連携してフリーランスやテレワーカーを招致する。村内の空き家を改修し、テレワークのモデルケースとして整備し新しい働き方への対応を図る。	12,390,748
2	R3	地域応援商品券発行事業	地域振興課	村内協賛店で使える地域応援商品券を発行し、地域での消費喚起を促し、地域経済の活性化を図る。令和3年7月1日付けで下北山村住民基本台帳に登録されている者に対し1冊10,000円の地域応援商品券を1冊(10,000円分)配布する。	9,152,754
3	R3	地域人口経済調査事業	地域振興課	持続可能な村づくりの為に新型コロナウイルス感染症の影響に重きを置いた地域人口変動や意識調査を大学と共同で実施し、ウィズコロナを見据えた第3期総合戦略の策定に活用する資料となる調査を行う。	450,000
4	R3	観光施設等感染予防対策事業	産業建設課	新型コロナウイルス感染防止対策として、村内の公園等の手洗い場を自動水洗化し、接触機会を避ける。	3,377,000
5	R3	図書館パワーアップ事業	教育委員会	外出抑制時に在宅で過ごす時間を豊かなものとし、「新しい生活様式」に対応するため、蔵書数の増加や蔵書情報のオンライン化、ネット予約システムを導入し接触機会を減らし感染予防に対応できる環境構築を図る。	282,211
6	R3	学校内感染予防事業	教育委員会	小中学校における新型コロナウイルス感染予防対策として空気清浄機、消毒用ディスペンサー等の備品を購入する。	348,700
7	R3	高校生活応援補助金	教育委員会	村内に高校が無く、村外への進学が必須であるが、新型コロナウイルス感染症による社会経済の停滞等の影響から、教育に係る経済的負担軽減を図り、教育機会の振興に寄与するため、一人に付き月額5,000円×12ヶ月分の補助金を助成する。	700,000
8	R3	役場庁舎通信環境高度化事業	総務課	新たな働き方として、リモートワークやオンライン会議等による業務が増加したため、通信環境を高度化し対応を図る。	3,817,000
9	R3	感染対応支援事業	総務課	新型コロナウイルス感染リスクを減らすため、書面、対面規制や押印等の業務を見直し、スムーズな手続き業務を行うため、例規整備を行う。	3,740,000
10	R3	防災活動支援事業	総務課	指定避難場所(保・小・中合同校舎)に、新型コロナウイルス感染対策のため消毒液やバーテーション等を備蓄する倉庫を2棟設置する。	986,700
11	R3	ワーケーション等支援事業	地域振興課	「ウィズコロナ」下での社会経済活動の再開等に関して、都市部と地方で働く新たなライフスタイル(ワーケーション)の促進をより一層加速させるため、エリアに必要なWi-Fi通信環境の整備を行う。	2,200,000
12	R3	感染防止対策事業	地域振興課	奈良県が実施する感染防止対策に取り組む飲食店・宿泊施設を対象とした「奈良県新型コロナウイルス感染防止対策施設支援補助金」の自己負担分について補助する。	595,351
13	R3	下北山村スポーツ振興イベント休業等支援給付金事業	地域振興課	下北山村の施策としてスポーツ振興イベントを実施しているが、全国的に新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言が発令され、事業の縮小により影響を受けた宿泊施設に対して宿泊定員に応じた支援金を交付し、事業の継続性を確保する。	2,300,000
14	R3	公共施設等の管理維持体制持続化事業	地域振興課	公共施設を安心して利用できるよう新型コロナウイルス感染症防止に資する環境整備を行う。サーモグラフィー、空気清浄機等の備品を購入する	726,000
15	R3	テレワーカー向けサービス環境整備	地域振興課	「ウィズコロナ」下での社会経済活動の再開等に関して、都市部と地方で働く新たなライフスタイル(ワーケーション)の促進をより一層加速させるため、現在のテレワーク施設「B I Y O R I」の利用状況を踏まえ、個室の防音改修を実施し更なる利用促進を図る。	564,300